

備前市事務事業評価表

事務事業名	防犯活動啓発事業	コード	01-04-03-01
		担当課・係	市民課・生活安全係
		担当者	芳田 猛
事業実施期間	平成17年度～	電話	0869-64-1876
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	安全で安心して暮らせるまちづくり	
	小項目(施策)	地域防犯	

事業について	
目的 (何のために)	安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、地域社会の犯罪抑止機能の向上を図る。
対象 (誰・何を対象に)	幼児から高齢者まですべての市民
内容	防犯パトロール、防犯啓発活動、広報びぜんやホームページによる犯罪情報提供

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
防犯啓発活動実施	4回	6回	
防犯パトロール	4回	11回	
防犯情報提供	26回	26回	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	0	国庫補助金等		直接事業費	107	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,003	受益者負担		人件費	3,488	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	1,003	一般財源等	1,003	合計	3,595	一般財源等	3,595	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.12人	0.37人	
結果指標	結果指標名	防犯啓発活動実施	防犯啓発活動実施
	結果指標量	4	6
	単位	回	回
	対前年比	—	150.00%
	活動にかかるコスト	300,900円	1,842,060円
単位当たりコスト	75,225円	307,010円	
結果指標	結果指標名	防犯パトロール	防犯パトロール
	結果指標量	4	11
	単位	回	回
	対前年比	—	275.00%
	活動にかかるコスト	401,200円	1,373,386円
単位当たりコスト	100,300円	124,853円	

事業の成果	
どのような成果を得ようとしているか	市がパトロールを率先することにより、地域での防犯パトロール活動の気運を高め、犯罪抑止機能を向上させる。
成果指標名	市が実施する防犯パトロールの強化
式又は説明	防犯パトロール活動が活発な地域以外を支援するため、市としても防犯パトロールの回数を増やす。
成果指標量	17年度 4 18年度 11 対前年比 275.00%
到達目標値	36 到達目標年度 平成21年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 備前市青色パトロール実施要領	妥当性評価<A~E> A
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	犯罪増加等の社会情勢並びに、市民や関係団体からの要望もあり、犯罪抑止力の強化及び犯罪被害防止のためには、継続した啓発活動は必要な事業である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	地域団体、市民ボランティアと協力連携しながら、計画的に防犯パトロール等を強化することにより、犯罪抑止機能の向上とコスト削減を図る。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明 小学生の下校時を重点的に青色パトロールを実施、啓発活動及び防犯教室の開催、ホームページやメルマガによる情報配信など実施する。
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量 6 成果指標量 20	結果指標量 20

総合評価	市が率先して啓発活動、防犯パトロールを実施することにより、市内全域の防犯意識の高揚を図るとともに、犯罪防止のため継続して啓発活動を実施することが重要である。	評価区分<A~E> B
------	--	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	--

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果